

一般国道113号（新潟山形南部連絡道路） 小国道路 説明資料

国土交通省 東北地方整備局
北陸地方整備局

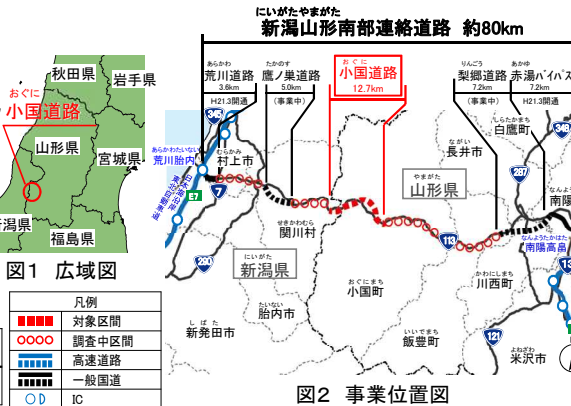
平成31年3月8日

一般国道113号(新潟山形南部連絡道路) 小国道路に係る新規事業採択時評価

- ・積雪による交通障害の影響を受けにくい信頼性の高い道路ネットワークを確保
- ・県境を跨いだ広域観光連携の推進を支援する幹線道路ネットワークの強化

1. 事業概要

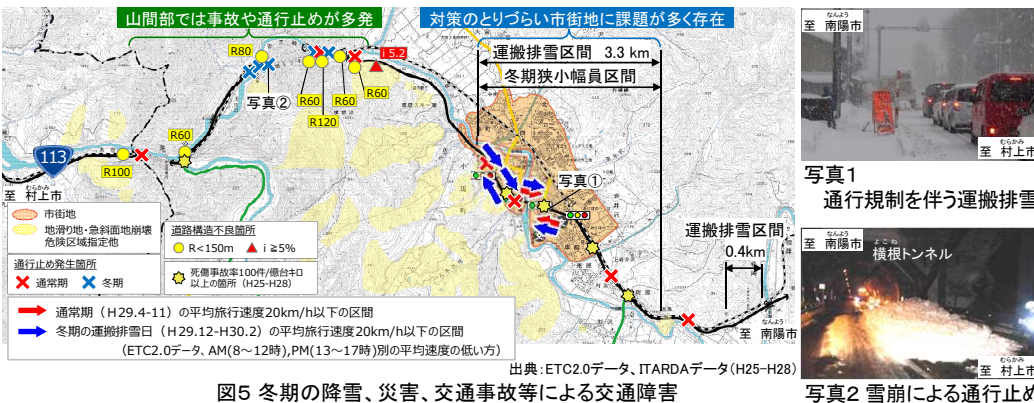
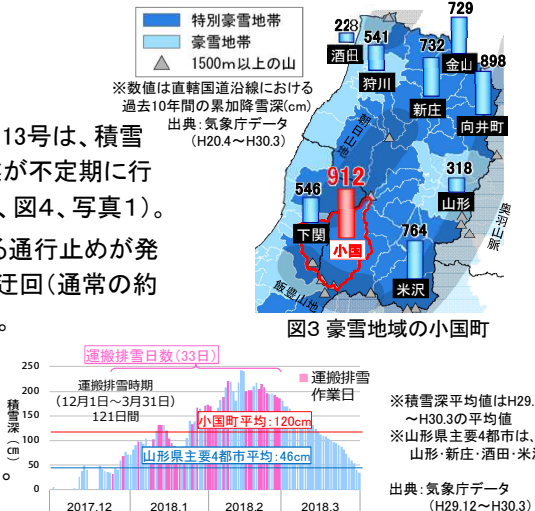
- ・起終点: 新潟県岩船郡関川村大字金丸 ~ 山形県西置賜郡小国町大字松岡
- ・延長等: 12.7km (第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約350億円
- ・計画交通量: 約5,300台/日



2. 課題

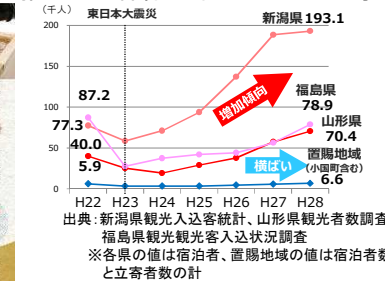
①積雪期の著しい交通機能の低下

- ・特別豪雪地帯である小国町を通過する国道113号は、積雪で更に狭くなった道路を広げる運搬排雪作業が不定期に行われ、交通規制に伴う速度低下が発生(図3、図4、写真1)。
- ・また、当該区間は雪崩や冬期間の事故による通行止めが発生しており、通行止め時に代替路がなく広域迂回(通常約2倍)や立ち往生を強いられる(図5、写真2)。
- ・地域唯一の幹線道路の機能低下により、地域住民の通勤・通学・通院などの遅れや、地域の主要産業である製造業の物流を阻害するなど、日常生活や経済活動への影響が大きい。



②広域観光連携に不可欠な幹線道路ネットワーク

- ・山形県は新潟県、福島県との共同誘客事業や、冬期観光資源を活かしたインバウンド観光など、県を跨いだ広域観光連携が推進され、外国人旅行者は3県共に増加傾向だが、両県に隣接する置賜地域は低迷(図6、図7、図8)。
- ・置賜地域を通過する国道113号は脆弱なため地域間交流を阻害しており、広域観光連携の推進には幹線道路ネットワークの強化が必要。



3. 整備効果

効果1 積雪期の交通機能の改善[◎]

- ・速達性、定時制の確保、広域迂回の解消により、信頼性の高い道路ネットワークが確保され、新潟・山形間の生活・企業活動を支援。
- 【速達性の向上】村上市～南陽市間の所要時間
通常期: 現況 約106分 → 整備後 約94分(約12分短縮)
冬期: 現況 約116分 → 整備後 約101分(約15分短縮)
- 【広域迂回の解消】村上市～南陽市間の迂回
現況: 約218km、約289分 → 整備後: 約95km、約94分(約7割減)

効果2 広域観光連携を支援する

幹線道路ネットワークの強化[◎]

- ・道路網の整備等によるアクセス向上のメリットを活かした、新たな広域観光ルートの開発などの広域観光連携を支援。
- 【おもてなし山形県観光計画(H27.3)に位置づけ】



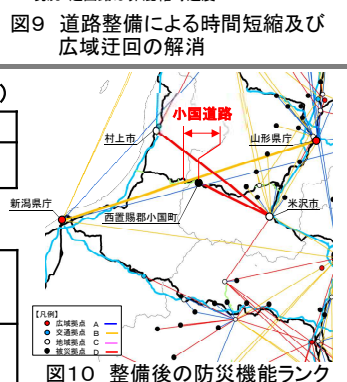
■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.1	4.7%	287億円※2	320億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率 ※2: 基準年(H30年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
3	0.74 [C]	0.75 [C]	▲19.28	0.03	0.00	○



にいがたやまがた おくにごくに 一般国道113号(新潟山形南部連絡道路) 小国道路に係る新規事業採択時評価

